

**インフラメンテナンス国民会議 北海道フォーラム「発足会議」を開催します**

～北海道の地方公共団体におけるインフラメンテナンスの課題解決を目指して～

地方公共団体が管理する橋などの土木構造物や公共施設は、老朽化による管理費用の増大や維持管理を行う技術者不足により、メンテナンスの継続が課題となっています。

北海道開発局では、メンテナンス分野に関心のある企業・団体を中心とした、北海道の地方公共団体におけるインフラメンテナンスの課題解決の後押し等に取り組む、「インフラメンテナンス国民会議 北海道フォーラム（以下、北海道フォーラム）」を設立するための準備を進めてまいりました。

この度、北海道フォーラムの企画・運営体制が整いましたので、これを正式に発足させるために、地方公共団体の参加の下、今後の進め方や取り組むべき具体的な検討課題について議論する「発足会議」を下記のとおり開催することになりましたので、お知らせします。

北海道フォーラムは、全国組織である「インフラメンテナンス国民会議」※の地方部における活動の活性化を図るため、地方組織として公認・設立を目指します。

## 記

- 開催日時 平成30年3月2日（金）13：30～16：30  
開催場所 札幌第1合同庁舎2階講堂（札幌市北区北8条西2丁目）  
議事（予定） 概要説明「北海道フォーラム（案）」について  
グループ討議「インフラメンテナンスの課題と民間技術等の活用について」  
申込み 取材を希望される報道関係者の方は、別紙「申込書」にて、  
3月1日（木）17：00までにお申込み願います。

※ インフラメンテナンス国民会議は、社会全体でインフラメンテナンスに取り組む機運を高め、未来世代により良いインフラを引き継ぐべく、産学官民が有する技術や知恵を総動員するためのプラットフォームです。  
詳しくは、以下のホームページに掲載されています。

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/im/>

※ 「北海道フォーラム（案）」については、別添の参考資料をご参照ください。

※ 本発足会議は、冒頭の「北海道フォーラム（案）」までを公開させていただきます。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

開発監理部 開発調整課 課長補佐 布施 純 （内線 5494）

開発計画専門官 大部 裕次 （内線 5479）

事業振興部 技術管理課 課長補佐 五十嵐 光徳 （内線 5653）

北海道開発局ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/>



北海道開発局 開発調整課 宛

(FAX 011-709-9215)

(Email [hkd-ky-maintenance@ml.mlit.go.jp](mailto:hkd-ky-maintenance@ml.mlit.go.jp))

## 申 込 書(報道関係者)

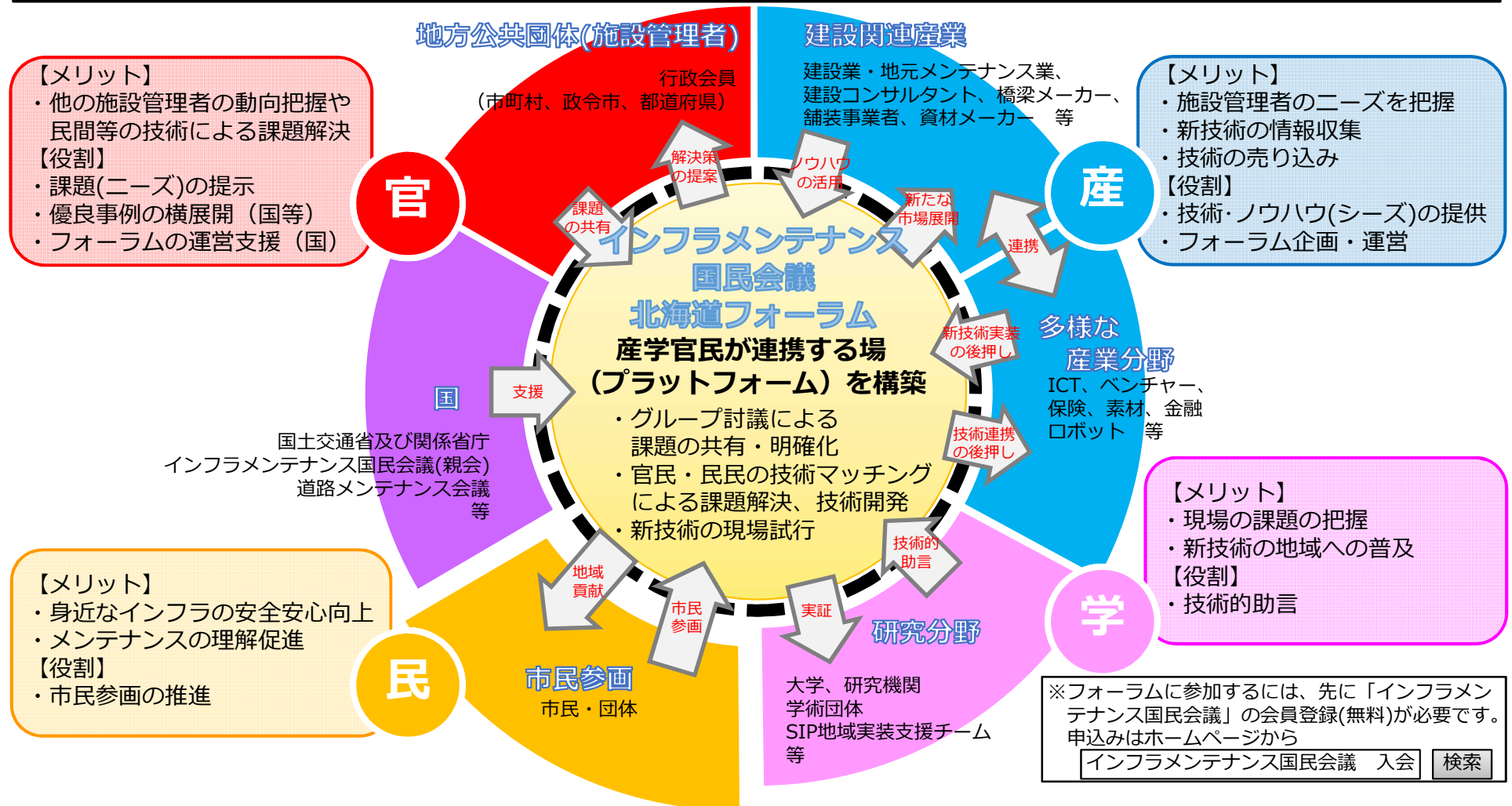
「インフラメンテナンス国民会議 北海道フォーラム 発足会議」の傍聴・取材を希望する場合は、本様式により、上記宛先までメール又はFAXでお申込みください。

申込締切は、3月1日(木) 17:00です。

■会社名及び部署名
■傍聴・取材者 役職・氏名（全員の役職・氏名を記載願います）  ①（代表者） _____  ② _____  ③ _____  ④ _____
■テレビカメラ持込みの有無（該当するものに○をつけてください）  有 ・ 無
■連絡先（代表者の連絡先）

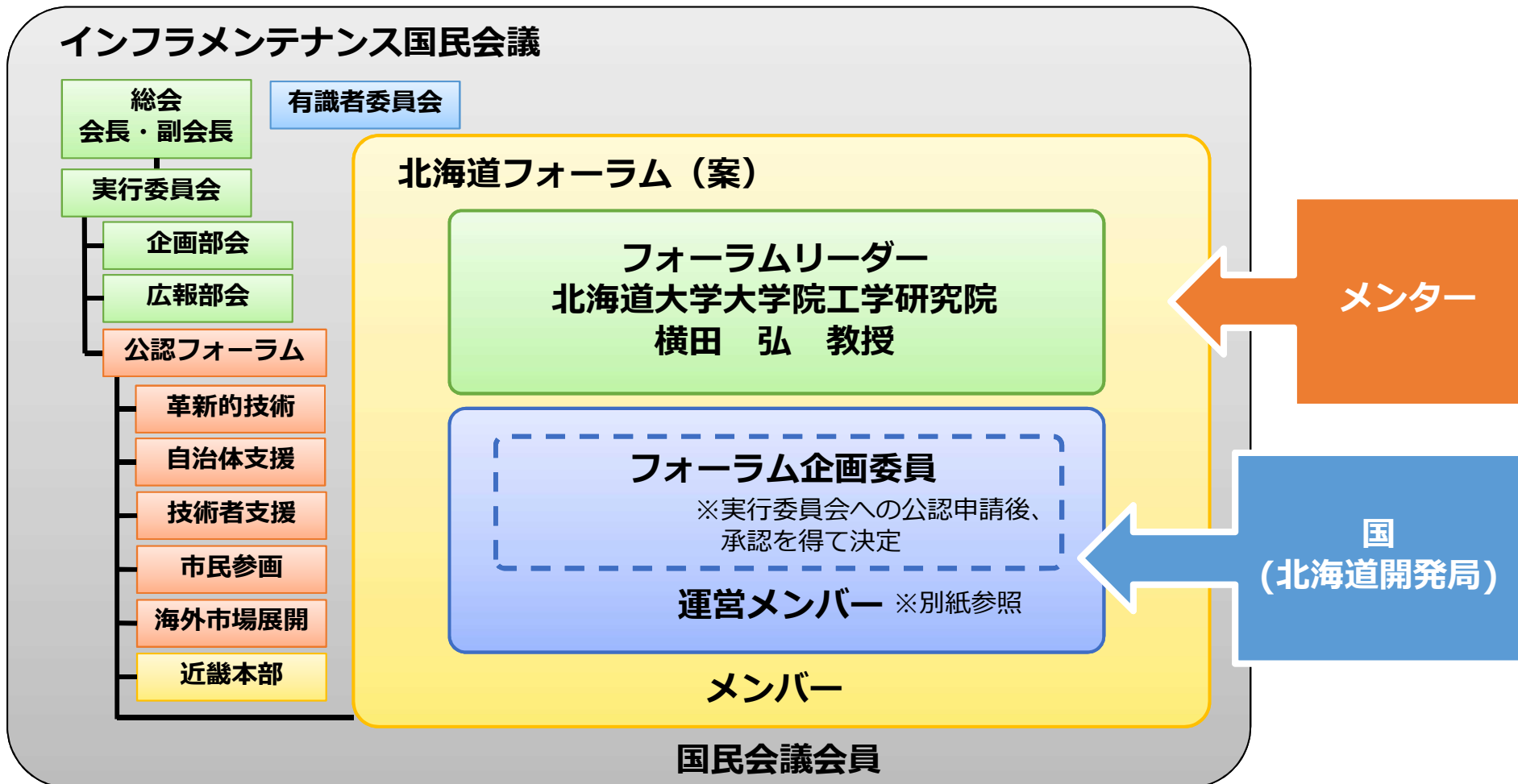
※ご記入いただいた個人情報については、本件に関する連絡以外では使用しません。

- 地方公共団体が管理する道路・橋梁、舗装、上下水道、建物などの土木構造物や公共施設は、老朽化による管理費用の増大や技術者不足などにより、メンテナンスの継続が課題。
- 産学官民が連携し、課題の共有・明確化、課題解決の後押し、また、新たな技術の開発・現場試行などをコーディネートする場（プラットフォーム）を構築。



# 北海道フォーラムの構成(案)

- 北海道フォーラムは、インフラメンテナンス国民会議の公認フォーラムとして設立予定。  
国民会議の会員が、北海道フォーラムのメンバーとして参加。
- フォーラムの企画・運営は、フォーラムリーダー(学識者)のもと、産業界の会員を中心とした運営メンバー(≒フォーラム企画委員)が担う。



# 運営メンバー(≒フォーラム企画委員)の構成(案)

- 運営メンバーは、事務的役割の各担当となり、取り扱うテーマ別のグループに属する。
- フォーラム開催時に取り扱うテーマは、当初5つのテーマを想定。今後は、取り扱うテーマ設定に応じて、柔軟に対応するものとする。

	総括	フォーラムで取り扱う5つのテーマ(想定)				
		土木関連			建築関連	⑤自治体支援
		①道路構造物	②その他構造物 (上下水道、港湾、公園、河川、農業等)	③舗装	④公共施設・住宅	
企画委員長・全体調整	(一社)北海道建設業協会					
企画担当 ・フォーラム企画(開催スケジュール設定、テーマ設定) ・記録(開催結果とりまとめ) ・広報	(株)ドーコン	(株)構研エンジニアリング	(株)南組	ニチレキ(株)	積水ハウス(株)	NPO法人公共環境研究機構
自治体担当 ・自治体対応窓口 ・ニーズヒアリング、とりまとめ	(株)北海道技術コンサルタント	コンクリート・鋼構造物超耐久化工法研究会	勇建設(株)	(株)土木技術コンサルタント	北電総合設計(株)	西松建設(株)
		(株)ダイヤコンサルタント	(株)ノース技研	西江建設(株)	(株)開発工営社	
企業担当 ・企業対応窓口 ・シーズ技術とりまとめ	岩田地崎建設(株)	(株)中山組	(株)エスイーシー	伊藤組土建(株)	サンエスホールディングスグループ	(株)ティーネットジャパン

事務的役割



# 北海道フォーラムの進め方イメージ

- 地方公共団体のインフラメンテナンスの課題(ニーズ)に対し、フォーラムの開催を通じ、課題解決に資する技術・ノウハウ(シーズ)のマッチングを提案します。
- 得られた成果を情報発信するなどし、メンテナンス技術の社会実装を促進します。

課題(ニーズ)の公募・ヒアリング  
→課題(ニーズ)の把握

- ・ 行政会員からインフラメンテナンスの悩みや課題(ニーズ)を随時募集。また、企画委員による施設管理者ヒアリングを実施し、ニーズを把握。

フォーラム開催(グループ討議)  
→課題(ニーズ)の深掘り

- ・ 行政会員、企業会員、メンター(学識者等)、ファシリテーター(運営メンバー)が参加し、ニーズについて議論(グループ討議)し、何が課題なのか明確化。また、解決策について方向性を検討。

技術・ノウハウ(シーズ)の公募  
→技術・ノウハウ(シーズ)の掘り起こし

- ・ 解決策の方向性を踏まえ、技術・ノウハウ(シーズ)を、全国の企業会員等へ公募するなどして、掘り起こし。

フォーラム開催(ピッチイベント等)  
→ニーズ・シーズのマッチング

- ・ 応募された技術・ノウハウ(シーズ)のプレゼンを受け、グループ討議などを行い、ニーズ・シーズのマッチングを見いだす。

フィールドでの実証試験等  
→効果の検証等

- ・ 行政会員のフィールド提供、企業会員の实証試験などにより、実際の効果を検証。

広報・フォーラム等で情報発信  
→メンテナンス技術の社会実装  
ベストプラクティスの横展開を促進

- ・ 得られた成果を広報や次回フォーラムなどで情報発信し、メンテナンス技術の社会実装、ベストプラクティスの横展開を促進。

- 現時点で想定されるテーマ別に、グループ討議を行います。
- 運営メンバーに加え、北海道内の地方公共団体の実務担当者に参加していただき、フォーラムの設立に向け、今後の進め方のアイデアや取り組むべき検討課題を抽出します。

## <グループ討議の参加者>

- 1テーブル10人程度×5テーブル
- ・地方公共団体
  - ・民間企業等（運営メンバー）
  - ・ファシリテーター

## <グループ討議のテーマ設定(想定)>

テーマ(想定)		対象範囲とキーワード (例)
土木	①道路 構造物	橋梁、トンネル、その他本体構造物、 道路附属物 など
	②その他 構造物	上下水道、港湾管理施設、河川管理施設、 公園施設、農業水利施設 など
	③舗装	舗装
建築	④公共施設 ／住宅	市民利用施設、行政施設、供給処理施設 公営住宅 など
⑤自治体支援		アセットマネジメント、個別施設計画、 補修・修繕・更新とLCC把握、 インフラの集約・再編、インフラストック・ 点検データの活用、PPP/PFI、包括的民間委 託、技術者育成、市民参画 など

## <グループ討議の進め方(案)>

